

学習

【小学校 社会科】 5年 社会科のこれまでの学習を通して

学級でたてた学習問題に対して、教科書や資料集などを使って問題解決を図る。必要に応じてネット検索を使用する。分かったことや考えたことをノートやロイロノートにまとめていく。

今までは・・・

調べたことをノートにまとめていた。書いてまとめることに課題がある児童や字が整えられない児童にとってはなにを書いているのかもわかりづらい。



【効果UP】 【効率UP】

・まとめる方法をノートにするかロイロノートにするかを選択させることで個別最適な学習につながるのではないかと考える。ロイロノートにまとめている児童は場合によってはシンキングツールを使用している児童もいる。

【小学校 社会科】 5年 社会科のこれまでの学習を通して

《事前準備》

配布する資料がある場合は紙での印刷やロイロノートで資料を配布する。

《学習展開》

活動①

身の回りの社会の現状や課題から考えを出し合い、学習問題をたてる。

活動②

学習計画をもとに1時間ごとの問題を教科書や資料集などを使って調べ、まとめていく。

効果UP

ノートに記録するのに時間がかかってしまう、資料なども写真を撮ることでロイロノート上に残すことができる。

めあて
日本で自動車工業がさかんな理由を考え、学習問題を作ろう。 12月15日(金) 1時間目

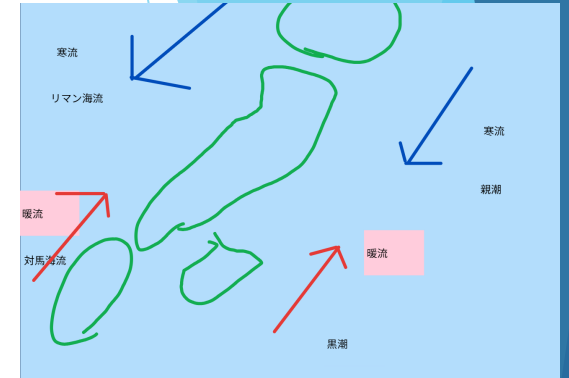
なぜ豊田市で自動車工業がさかんなったのか
・ 輸入・輸出が便利になるように、港がたくさんある愛知県(7)にたくさん作っている。(だが、愛知県の港の数は15、日本では18位である。)
・ 港への輸送が便利になるように、交通網が便利なところの近くに作っている。
・ 中部国際空港から自動車を作るための部品が運くよう、空港があるところに多く自動車工場を作っている。

都道府県	港の数
北海道	1
青森県	1
岩手県	1
秋田県	1
山形県	1
福島県	1
茨城県	1
栃木県	1
群馬県	1
埼玉県	1
千葉県	1
東京都	1
神奈川県	1
新潟県	1
富山県	1
石川県	1
福井県	1
山梨県	1
長野県	1
岐阜県	1
静岡県	1
愛知県	15
岐阜県	1
滋賀県	1
京都府	1
大阪府	1
兵庫県	1
奈良県	1
和歌山県	1
徳島県	1
香川県	1
愛媛県	1
高知県	1
福岡県	1
佐賀県	1
熊本県	1
大分県	1
鹿児島県	1
沖縄県	1

愛知県の港の数は15。日本の中ではあまり多くない。なぜ自動車工場が愛知県には多いのか？

振り返り
私は今回の学習をして、自動車のことについてたくさん学びたいと思いました。自動車のことは、将来の仕事にかかわるかもしれないからです。これからも頑張りたいです。

学習問題
自動車づくりに携わる人々は、より良い自動車をたくさん作るために、どのような工夫や努力をしているのだろうか。



問
長崎漁港の沿岸で盛んな沖合漁業はどのように行われているのだろうか。
予想 期間 範囲 方法 その他
・ 200海里水域以内(範囲)
・ 春から夏(期間)
・ 色々(方法)

調べ
いせいばき網漁業(レンコガイ、マガイ、イカ、アカメ、エリなどが取れる。大中小型網漁業など(イワシ、アジ、サバ、サワラなどが取れる)(https://www.city.nagasaki.lg.jp/jijyo/370000/371000/p005679参照)

【無ってはいけない期間】	禁止期間
あわび (殻長10センチを超えないものに限る)	11月1日から12月20日まで
たいらぎ (殻の縦長径15センチを超えないものに限る)	6月1日から9月30日まで
いせえび (体長15センチを超えないものに限る)	5月21日から8月20日まで
なまこ	4月1日から10月31日まで
あゆ	1月1日から5月31日まで
べにずわいがに	7月1日から8月31日まで

(https://www.pref.nagasaki.jp/bunru/shigoto-sangyo/suisangho/gyogyo-tyosei/tyosei-kisoku/参照)
・ 出漁してから2〜3日で帰港する漁業もあれば、帰港するまで1ヶ月以上を要する漁業もあります。(https://www.hokkaido.net/fishery/other-fishery参照)

組み立ての流れ

①プレス

鉄を使って、屋根やドア・床を作る作業。プレス機という機械で、折り曲げたり打ち抜いたりする。

【小学校 社会科】 5年 社会科のこれまでの学習を通して

《学習展開》

活動③

学習問題を確認し、これまでの学習を振り返る。

活動④

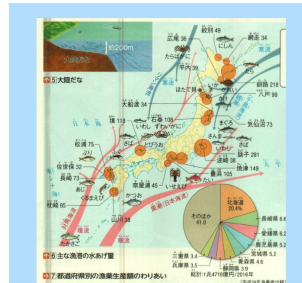
学習問題をもとに、特色などをまとめる。

効果UP

効率UP

オンラインで作成することで、友だち同士で共有が行いやすい。いろいろな人のまとめたものを見比べることで、自分自身のものにも生かしやすい。

日本の漁業について



日本近海はいい漁場

日本近海には、大陸だなや、寒流と暖流がぶつかる潮目があるので、いい漁場となっています。

日本人は魚をたくさん食べる！

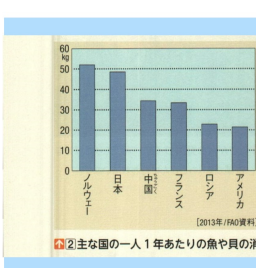
日本は、寿司などの伝統の文化もあって、一年間で一人あたりに消費する魚や貝の量が世界2位になっています。

水産加工品について 魚を加工する。



長崎漁港のすぐ近くに工場があります。工場の方は長崎のかまぼこの味を若い人たちに引きついでいきたいと思います。そして観光客をよびよせるために市役所と飲食店が協力して「長崎かんぼこ王国」を立ち上げました。

日本の漁業について



魚の豊富な日本

主な国の一人一年の魚などの消費量は日本が二番目で50kg近いです。日本には、水深約200メートルの領域の大陸棚があります。大陸棚ではプランクトンが豊富で海そうが良く育ち、魚が多く集まります。大陸棚で取れた魚を食べることが多いです。

日本の魚は安心

私達日本人からすると外国である日本の魚を食べることよりも、国内産である日本の魚を食べることが安心して食べられます。日本は海がきれいなので外国人からしても日本の魚は安心して食べられます。

水産業の課題

- 水産業には、たくさんの課題があります。
- まず、漁業で働く人たちが減ってきているのです。1970年には60万人だったのに対し、2019年には15万人に落ち込んでいるのです。
- それから、沖合漁業や沿岸漁業が減ってきているのも課題の一つです。漁獲の種類の減少や魚の取りすぎなどで、魚そのものが減ってきてしまっているのです。
- ほかに、魚が少なくなっているため、日本の水産物の輸入量が1970年と2020年で、二倍以上になっている課題もあります。
- このような課題がありますが、漁業の人たちは、働く人たちの数を増やそうと、活動をしてがんばっているのです。